

江津地域の新設校開校準備委員会「I 期中間まとめ」について

1 新設校開校準備委員会について

(1) 目的

- ・ 新設校の開校準備に関する業務を適切に行うために設置 (R6. 2. 27)

(2) 検討事項

- ① 新設校の学校運営の基本方針に関すること
- ② 新設校への円滑な移行に関すること
- ③ 新設校の開校に必要な調査及び情報収集に関すること
- ④ 新設校の施設及び設備等に関すること
- ⑤ 関係機関との連絡調整に関すること

(3) 構成

① 本会議構成員

- ・ 学校関係：江津高校及び江津工業高校の学校長、事務長、教頭、主幹教諭
- ・ 教育庁：総務課長、教育施設課長、学校企画課長、教育指導課長、保健体育課長、社会教育課長
- ・ 事務局：県立学校改革推進室長
- ・ オブザーバー：江津市、江津市教育委員会、島根職業能力開発短期大学校、島根県立大学、GO▶GOTSUコンソーシアム、両校学校運営協議会

② 開校プロジェクトチーム構成員

- ・ 江津高校、江津工業高校の教職員のうち、それぞれの学校長が選任した者。
ただし、必要に応じて両校教職員から適宜加えることができる。
(両校の教頭は、開校プロジェクトチームの会務を総括し、本会議との連絡調整にあたる)
- ・ オブザーバー：GO▶GOTSUコンソーシアム

2 令和10年度開校とした場合のスケジュール (目安)

年度		R 5 (2023)	R 6 (2024)	R 7 (2025)	R 8 (2026)	R 9 (2027)	R10 (2028)
		I 期 (教育内容、施設整備について検討)		II 期 (校内体制検討、施設整備)			
開校準備	学校					生徒募集 入学者選抜	開校
	県教委事務局	準備委員会設置・開校準備			施設整備の基本構想・基本設計、実施設計・工事		関係機関との調整

3 江津地域の新設校開校準備委員会のI期検討スケジュール

回	日時	検討内容
第1回 (済)	2月27日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検討スケジュール ・ 準備委員会の構成 ・ 今後の協議内容
第2回 (済)	4月24日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 準備委員会の構成 ・ I期検討スケジュール ・ スクールミッション ・ 新設校の組織編制
第3回 (済)	6月27日(木)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新設校の組織編制 ・ スクールミッション ・ 学科・コース ・ 特色ある学び
第4回 (済)	8月28日(水)	<ul style="list-style-type: none"> ・ I期中間まとめ(案) ・ 学科・コース ・ 特色ある学び ・ 地域連携 ・ 施設設備の整備
第5回 (済)	10月21日(月)	<ul style="list-style-type: none"> ・ I期中間まとめ ・ 学科・コース ・ 特色ある学び ・ 地域連携 ・ 施設設備の整備
第6回 (済)	12月18日(火)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 円滑な統合に向けた教育活動 ・ 校名の在り方 ・ 検討スケジュール ・ 施設設備の整備
第7回	2月中旬	<ul style="list-style-type: none"> ・ I期まとめ ・ II期検討スケジュール ・ II期プロジェクトチームの在り方

誰もが、誰かの、
たからもの。

江津地域の新設校開校準備委員会

I 期中間まとめ

令和6年12月24日

新設校開校準備委員会

令和5年12月決定の基本的な方針

- ① 江津地域の子どもたちの進路の選択肢の確保と、教育活動の充実を最優先に考え検討
- ② 江津高校と江津工業高校を統合し、1学年120人規模の新たな魅力ある高校を設置
- ③ 江津高校が築いてきた地域連携による進学を念頭においた学びを継承
- ④ 江津工業高校の伝統を生かすとともに、県西部の工業教育へのニーズに対応できるよう、工業教育の更なる魅力化を検討
- ⑤ 学科名、コース名、教育の具体的な内容については、地域の意見を丁寧に聴取しながら検討
- ⑥ 地域や地元教育機関等と連携し、探究的な学びを生かした魅力ある教育を展開
- ⑦ 工業教育の実習施設・設備が必要であることから、新設校は江津工業高校の場所を念頭
- ⑧ 開校する時期は、教育課程の検討と、それを踏まえた施設整備のため、令和10年度前後を想定
- ⑨ 開校までの間、または開校後であっても、地域や社会のニーズを捉え、時代にあった魅力ある学びとなるよう柔軟に対応し、必要があれば方針等を見直す

1 設置場所

- ・ 江津市江津町 1477 番地 （江津工業高校所在地）

2 開校及び閉校

(1) 新設校の開校

- ・ 令和 10 年 4 月（令和 9 年度実施の入学者選抜より募集開始）

(2) 新設校の設置

- ・ 令和 9 年度中に設置（県議会への条例案提出）予定

(3) 新設校のイメージ

- ・ 普通科系には「普通科」と「新しい普通科」、工業科には「機械・電気系」と「建築都市工学系」の学科を設置し、それぞれをくくり募集する。

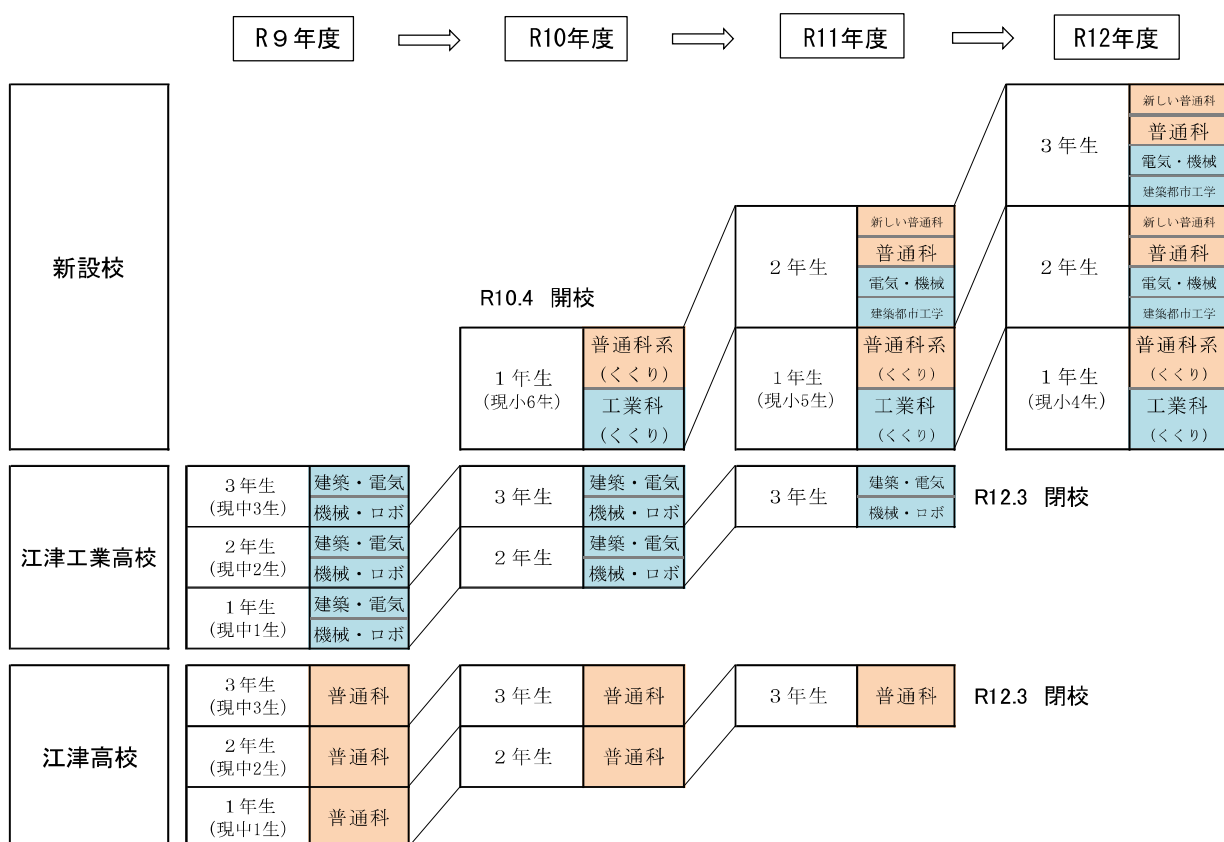
学科・コースの内容（学科名・コース名は未定）			1 学年当たりの学級数	
普通科系	普通科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文系・理系への進学 ・ 看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学 ・ 地域課題の探究からの学びを育てるための進学 	2 学級 (60) くくり募集	4 学級 (120)
	地域と連携した「新しい普通科」			
工業科	機械・電気系学科	<ul style="list-style-type: none"> ・ 機械コース ・ 電気コース ※ 大学等への進学にも対応 	2 学級 (60) くくり募集	
	建築都市工学系学科			

(4) 江津高校・江津工業高校の募集停止

- ・ 令和 10 年入学者選抜（令和 9 年度実施）から募集停止
- ・ 令和 8 年度及び 9 年度の入学生は卒業まで入学した学校で学習
- ・ 令和 10 年度及び 11 年度は江津工業高校と新設校の生徒が同じ校地で学習、江津高校の生徒が江津工業高校及び新設校の生徒と共に様々な教育活動を行える体制を整える

〈参考〉 令和 9～12 年度の配置

※ カッコ内の現学年は令和 6 年度現在



3 学びの特色

(1) 普通科系の学び

- ・ 普通科を 1 学級、地域と連携した学びのための「新しい普通科」を 1 学級設置する。「新しい普通科」の学科名は今後検討する。
- ・ 普通科、「新しい普通科」とともに文系・理系への進学、地域が必要とする看護・栄養・保育などの資格職をめざす進学に対応し、「新しい普通科」には地域と連携した探究的な活動を実践する学校設定教科・科目を設置する。
- ・ 1 年次には共通した教育課程で学び、2 年次から生徒が自らの適性や興味・関心に応じて普通科、または「新しい普通科」を選択できるようくくり募集とする。
- ・ 工業科の学びや、工業科の生徒と協働した学びにより、幅広い視点から地域課題の探究や自らのキャリアを深める教育課程とする。
- ・ これまでの県立大学との連携の実績を基に、さらに充実した地域探究活動を実現する。

(2) 工業科の学び

- ・ 機械、電気、建築の学びに加え、地域のニーズから都市工学系の学びを加える。
- ・ 機械・電気系の学科の中に機械コース、電気コースを設置する。建築都市工学系学科では建築の学びに加え、街づくりに必要な測量や設計などを学ぶ都市工学系の内容も加える。学科、コースの名称は引き続き検討する。
- ・ 1年次には工業について幅広く学び、2年次から生徒が自らの適性や興味・関心に応じてコースを選択できるようくくり募集とする。
- ・ 普通科の探究活動と連携した課題研究により、地域課題を通じた工業の専門的、実践的な学びを実現する。
- ・ 島根大学材料エネルギー学部等、4年制大学や短大・専門学校への進学を希望する生徒にも対応した教育課程とする。
- ・ 島根職業能力開発短期大学校（ポリテクカレッジ島根）の総合制作と新設校の工業科における課題研究との連携や、必要な実習設備の相互使用などの連携した学びを実現するための検討を引き続き行う。
- ・ より高度な資格取得のための学びを工夫する。
- ・ 引き続き地元産業界等と連携とした工業教育を進める。

(3) 両科に共通した学び

- ・ 柔軟な授業の選択が可能となるように単位制の導入について検討する。
- ・ 江津市、江津市教育委員会等と江津市内県立学校3校を含むGO▶GOTUコンソーシアムで、地域と連携した学びを構想する。

4 教育活動の特色

(1) 学校行事

- ・ 普通科系と工業科が併置されている特色を生かした、地域に開かれた学園祭等の学校行事を計画。

(2) 部活動

- ・ 江津高校・江津工業高校の特色を引き継ぎ、男女ハンドボール、水球、ボート部の強化を進める。
- ・ 石見神楽など地域の伝統や文化を生かした地域に貢献できる部活動や、工業の専門性を生かしたモノづくりのできる部活動の設置を検討する。

(3) 円滑な統合に向けた教育活動

- ・ 新設校設置までの期間においても、両校での行事の合同開催や、部員不足の部活動における合同チームの結成、合同練習などの取組を積極的に行う。

5 施設・設備の構想

(1) 安心・安全な教育環境の整備

- ・ 不足する女子トイレや女子更衣室等の基本的な環境を整備する。
- ・ 老朽化した校舎、屋内運動場及び実習棟の整備を検討する。

(2) 特色ある学びに必要な施設・設備

- ・ 普通科、地域と連携した「新しい普通科」、工業科の学びを実現するための学習環境を整備する。
- ・ 新たな都市工学系の学びに対応するための設備を整備する。
- ・ 普通科系の学び、工業科の学びが両立できるよう図書館や教科教室等の整備を検討する。

(3) 住まい確保

- ・ 普通科系、工業科ともに、県西部全体から入学を希望する生徒がいることが想定されることから、通学困難な生徒への住まい確保のため既存寄宿舍の整備について検討する。
- ・ 女子の受入れのための既存寄宿舍の整備について検討する。